

各地の話題 白石市

120年続く老舗果樹園 5代目がさらなる発展目指す

2025年8月8日号掲載

全国農業
新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

白石市でリンゴと西洋ナシを栽培している^{すまる}壽丸果樹園は、明治34年に創業した。現在は5代目にあたる大和田良樹さんが4代目である義父から引継ぎ、経営している。大和田さんは会社勤めであったが、約10年前の結婚を機に就農した。就農当初は見様見真似で農業を学び、現在は加工品の販売、イベント出店やSNSを活用して果樹園の魅力の発信にも力を入れている。

同園では、農薬と化学肥料の使用量を県の慣行基準の2分の1以下に減らし、「葉取らずりんご」を栽培している。大和田さんは「葉が直射日光から果実を守るほか、光合成が多くなるため、味が濃く糖度が高くなるのが特徴。約30種類の品種をこの方法で栽培している」と語る。

こまめな病虫害被害の観察が必須で、生育状態が天気によって左右されやすいため手間も時間もかかるが、大和田さんは「安心・安全を優先し、品質チェックは毎日欠かさない。今は義父からの顧客が多いが、自らも販路拡大し、果樹園を発展させたい」と話す。

【記事提供】 白石市農業委員会

作業中の大和田さん



壽丸果樹園で販売している「壽丸リンゴジュース」



明治34年当時の壽丸果樹園看板

